
ボルグワーナー、長城汽車向けにカスタマイズしたデュアルクラッチと制御モジュールで燃費を改善

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:ジェームズ・ベリアー/James Verrier)は、先進的なソレノイドバルブと摩擦材を使用してカスタマイズした DualTronic®のクラッチモジュールおよび制御モジュールを、長城汽車股份有限公司(Great Wall Motors:GWM)が自社開発した湿式デュアルクラッチトランスミッション(湿式 DCT)向けに提供します。燃費改善とダイナミックなドライビングを実現するよう設計された、ボルグワーナーの最先端のデュアルクラッチモジュールおよび制御モジュールは、優れた耐熱性、拡張可能なトルク容量、調整可能な発進特性を備えています。特別に設計された GWM の 7 速湿式 DCT は、最新の高級車ブランド「WEY」をはじめとする人気車種などに搭載されています。

ボルグワーナーの DualTronic クラッチモジュールは、2 つの湿式クラッチを偶数ギアと奇数ギアのそれぞれにつなぐことで、動力伝達を妨げずに一瞬で滑らかなギアチェンジを行い、ドライビングを快適にします。特殊設計のクラッチ溝を持つこのモジュールは、先進的なマルチセグメントの湿式フリクションマテリアルによる優れた耐熱性を備えているほか、トランスミッションの製品寿命の最後まで高いトルク容量と操作時の信頼性を保証します。コンパクトな油圧ソレノイドバルブを使用した制御モジュールは、クラッチだけでなくトランスミッションのギア切り替え機構も正確に制御し、ダイナミックなドライビング性能を実現します。DualTronic テクノロジーは、コンパクトなモジュール設計で変速機のサイズや重量が抑えられているため、燃費の改善につながり、結果的に排出ガスを削減することができます。

ボルグワーナー・トランスミッションシステムズの社長兼事業本部長 ロビン・ケンドリック(Robin Kendrick)は、「排出基準と燃費要件の厳格化に伴い、中国の自動車メーカーの多くが、燃費に優れた環境にやさしいテクノロジーを採用するようになってきました。当社は今年 3 月、GWM 向けにカスタマイズしたデュアルクラッチモジュールと制御モジュールの大量生産を開始しました。専門的な技術支援を通じて、省エネと環境保護に関する中国の政策にお客様が対応できるようサポートできることを大変光栄に思います。当社は、2013 年の GWM との戦略的な提携以来、中国の自動車市場における同社の成長を支えることに努めてきました。今後も GWM が目標を達成できるよう、緊密な連携を続けてまいります。」と述べています。



ボルグワーナーの先進的な DualTronic®のクラッチモジュールと制御モジュールが

GWM のさまざまな車両で優れた燃費とダイナミックなドライビングを実現

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー（NYSE: BWA）は、自動車の内燃機関、ハイブリッド車、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界 17 カ国 62 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 27,000 人の従業員を擁しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995 年米国私的有価証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらず」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「計画」、「追求する」、「目指す」、「すべき」、「目標とする」、「の場合」、「と見込まれる」といった文言、その変化形、同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを明示することを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクと不確実性が付随しますが、そうしたリスクや不確実性の多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、予測、示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性には、国内外の車両生産の変動、OEM 企業による外部サプライヤーの継続的な利用、当社製品が使用された車両の需要の変動、一般的な経済情勢の変化、直近の Form 10-K 年次報告書で挙げたリスク要因をはじめとして当社が証券取引委員会に提出した報告書で述べたリスクが含まれます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 後藤、副島、山本

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316 E-mail : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp